

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会長 鈴木 和憲 / 幹事 久松 但

第 1512 回 第 34 巻 11 号 2024 年 10 月 3 日

■■本日のプログラム■■

外部卓話 アスルクラロ沼津 社長 高島雄大様

■10月のプログラム■

1513 回 18:00 10 月 08 日(火) 沼津パ-サイド	沼津 4 クラブ合同例会 沼津北ロータリークラブ 移動例会
1514 回 12:30 10 月 17 日(木) 10 月 24 日(木)	合同奉仕作業報告 会長・幹事 理事会⑤ 裁量休会
1515 回 12:30 10 月 31 日(木)	外部卓話 沼津観光協会 石原俊雄様

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 本村文一

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

10 月は「経済と地域社会の発展月間」です。

国連は、ミレニアム開発目標において、地域社会と経済を発展させるには、貧困問題の解消、女性の地位向上（エンパワメント）、グローバルなパートナーシップ、環境の持続可能性が必要であるとしています。又、2014 年国連進捗レポートによると、極度の貧困者数が半減、労働市場における女性の地位が上昇、テクノロジーの使用（インターネット利用者約 30 億人、携帯電話利用者 70 億人）が上昇しており、途上国の借款は安定した状態を保っているとのこと。

しかし、国連が新たに発表した「持続可能な開発目標」からも分かるとおり、成すべきことは多くあります。「経済と地域社会の発展月間」の今月、各地域で引き続き、地域社会と経済の発展を支える活動をご支援いただけますよう、お願いしたいと思っています。

全世界では雇用されているにもかかわらず 1 日わずか 1 ドル 90 セント(約 220 円)で暮らしている人の数は、世界で約 8 億人もいます。又、一方では、アメリカ最大の先住民族保留地では、ナバホ族の約 16,000 世帯が電気の無い生活を送っており、およそ 3 軒に 1 軒は水道がなく、半数以上は台所と洗面の設備がないそうです。家の玄関からほんの数メートル先に送電線が通っているものの、電気を引くには電力会社に求められる許可申請や工事に 3 万ドル以上の費用がかかるそうです。しかし、こうした状況に地元の牧師を通じて、ディランゴ・ロータリークラブ（米国コロラド州）が太陽光発電による電灯をナバホ族保留地の家庭に届ける活動を行なっているそうです。私たちも国内は勿論海外にも目を向け

「経済と地域社会の発展」のためにロータリー活動を考えていきたいと思ひます。

出席報告 会員数 21 名

例会	会員数	出席数	出席率
1512 回	18 名	15 名	83.33%

●ゲスト

- 1.アスルクラロ沼津 社長 高島雄大様
- 2.アスルクラロ沼津 秋山卓哉様

●欠席者(3 名)

久松 但、本村文一、下原満知子

●他クラブへの出席者

山田和典 (10/3 IAC)

●スマイル報告

- 1.宮島賢次：誕生日のお祝いありがとうございます。
- 2.土屋昌之：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
- 3.植松 正、4.杉山真一：高島社長、卓話宜しく願います。
- 5.羽切勝利：お休みが多くて、申し訳ございません
- 6.重光 純：遅刻してすみません。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

連絡は来ておりません。

2.報告・連絡事項

- ① 次週は、10/8(火)に例会日変更で、18時より沼津リバーサイドにて、沼津4RC 合同例会です（※18:30ではありません）。
- ② 10/31(木)は、沼津観光協会 石原俊雄様の外部卓話で、友人同伴例会を開催します。友人が出席の方は、出席表にご記入ください

外部卓話

「アスルクラロ沼津の地域貢献活動と今後の展開」



アスルクラロ沼津
社長 高島雄大様

まずは簡単に自己紹介させていただきます。大学卒業後に銀行員を経て、Jリーグ開設時より「鹿島アントラーズ」にスタッフとして30年近く在籍していました。その間はサッカーの神様ジーコの薫陶を受け、運営からはじまり最後は育成部長を務め海外遠征も100回以上経験しております。Jリーグの仕事に関わる中、沼津のスタッフよりクラブの存続危機について相談を受け、新オーナーを紹介した経緯から2022年12月より社長を務めております。

照明問題と財政問題の二つの問題をクリアした新生アスルクラロは、まず”ミッション・ビジョン・バリュー”の再確認を行いました。ミッションは、地域コミュニティの中核としての貢献や、地域住民に心身の健全育成を行うなどです。ビジョンは、「2025年までにJ2リーグに、2033年までにJ1リーグにふさわしいクラブとなる」です。そのためにチーム体制を強化し、予算規模も3億円から5億円台に拡大し、実質8億円台になろうとしています。昨年よりJ2ライセンスを獲得し、成績次第で昇格が可能となりました。バリューとして「全力・共越・誇り」の三つを掲げています。スピード感や協調性を持ち、共に壁を乗り越え、人々に夢や感動を伝えるために情熱を持つことを意味します。

地域貢献活動として、貴クラブとの少年サッカー大会や募金活動も含まれますが、パートナー企業と様々な取り組みを行っています。実例としては、エコキャップの回収、防災訓練や公園整備事業への参加などです。また、沼津市をはじめとする17市町とパートナーシップ協定を締結し、サッカー教室開催や地域イベントに参加しています。

Jリーグでは「シャレン（社会連携活動）」と称して社会課題や共通テーマに、地域の人・企業や団体・自治体・学校と連携して取り組む活動をしています。また、シャレンを通じてSDGsにも貢献しています。今後とも皆さまの一層のご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

以上

(文責 植松 正)